



2018年3月期 第2四半期決算説明資料

2017年11月22日

証券コード:4022

目 次

- 1. 2018年3月期上期実績及び通期見通し**
- 2. 中期経営計画の進捗と2017年度の重点施策**



1. 2018年3月期上期実績及び通期見通し

2018/3期 上期決算概要

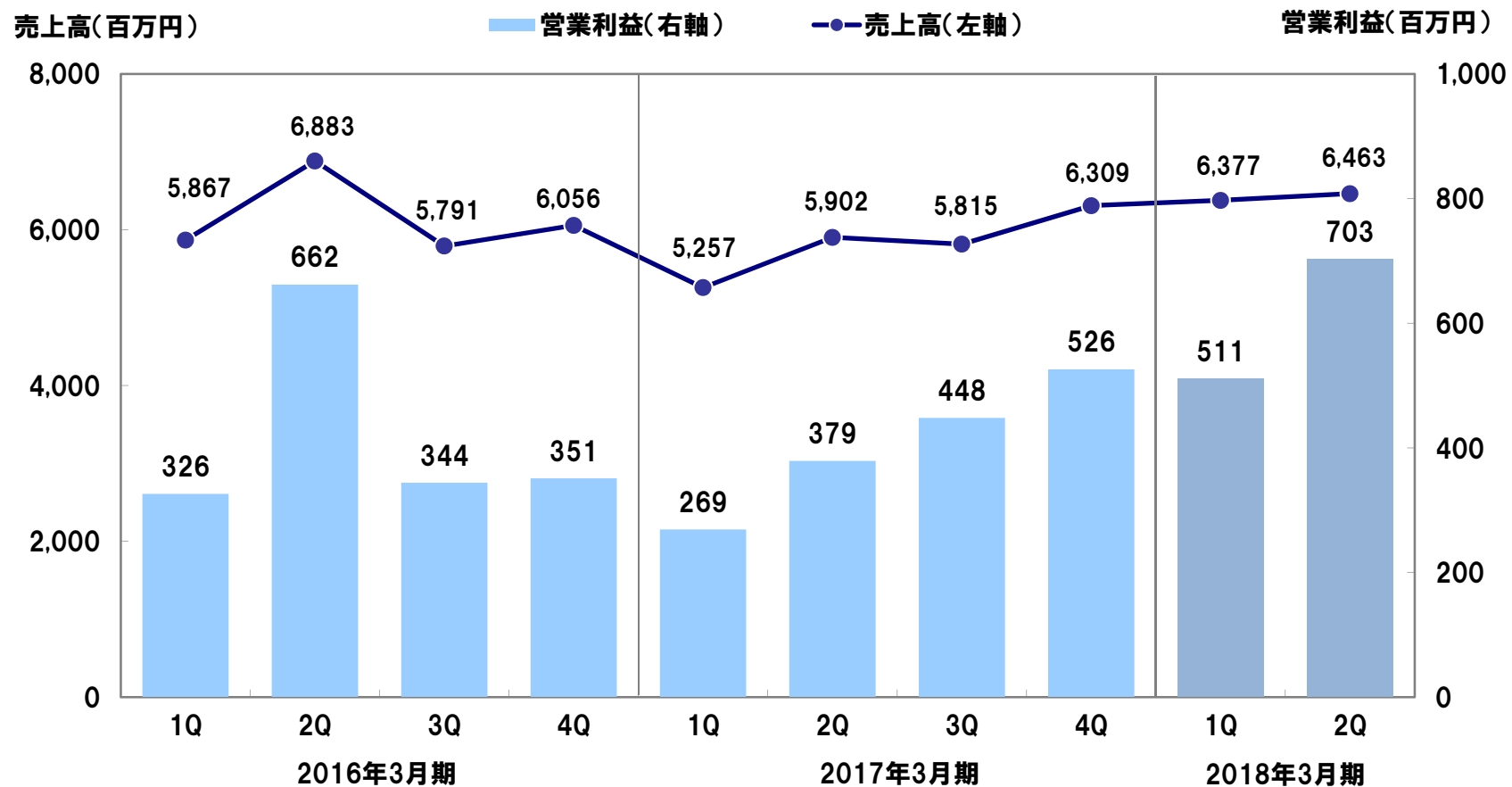
- 化成品は好調裡に推移、機械は大幅な改善、増収増益。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に指針適用に伴う法人税等調整額の利益計上があり、減益。

(単位:百万円)

	2017年3月期 上期	2018年3月期上期		期初計画	対計画比 増減
		実績	前年比		
売上高	11,159	12,840	15.1%	12,500	340
営業利益	648	1,214	87.2%	850	364
経常利益	445	1,125	152.8%	700	425
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,137	914	△19.5%	500	414

四半期業績の推移

四半期売上高と営業利益の推移（百万円）



2018/3期 上期セグメント別概要

(単位:百万円)

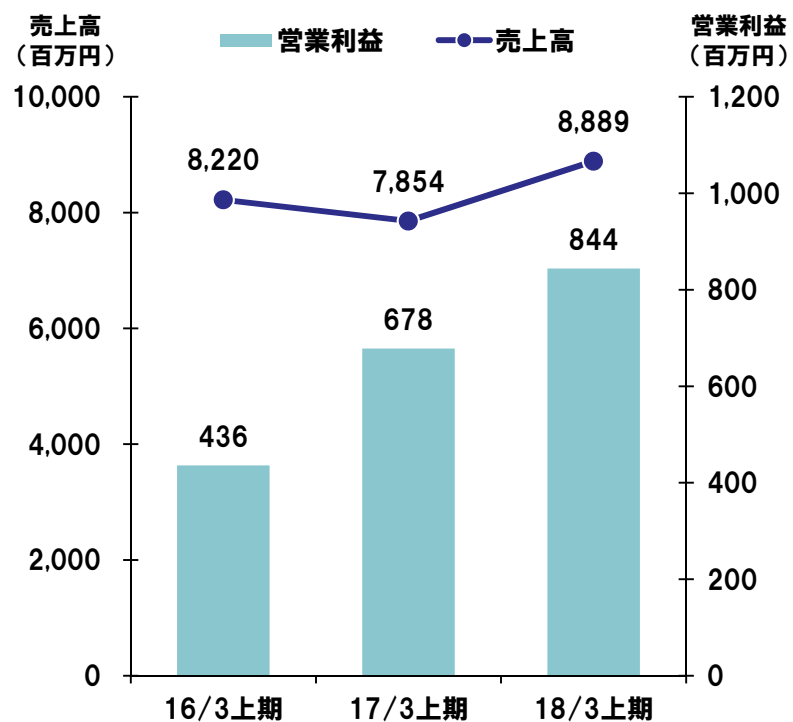
		2017/3 上期	2018/3 上期	増減
化 成 品	売 上 高	7,854	8,889	1,035
	営 業 利 益	678 (8.6%)	844 (9.5%)	166
機 械	売 上 高	1,907	2,473	566
	営 業 利 益	31 (1.6%)	290 (11.7%)	259
電 子 材 料	売 上 高	729	850	121
	営 業 利 益	0 (0.0%)	120 (14.1%)	120
そ の 他	売 上 高	667	627	△40
	営 業 利 益	404 (60.6%)	398 (63.5%)	△6

注) カッコ内の数値は各セグメント別の売上高営業利益率

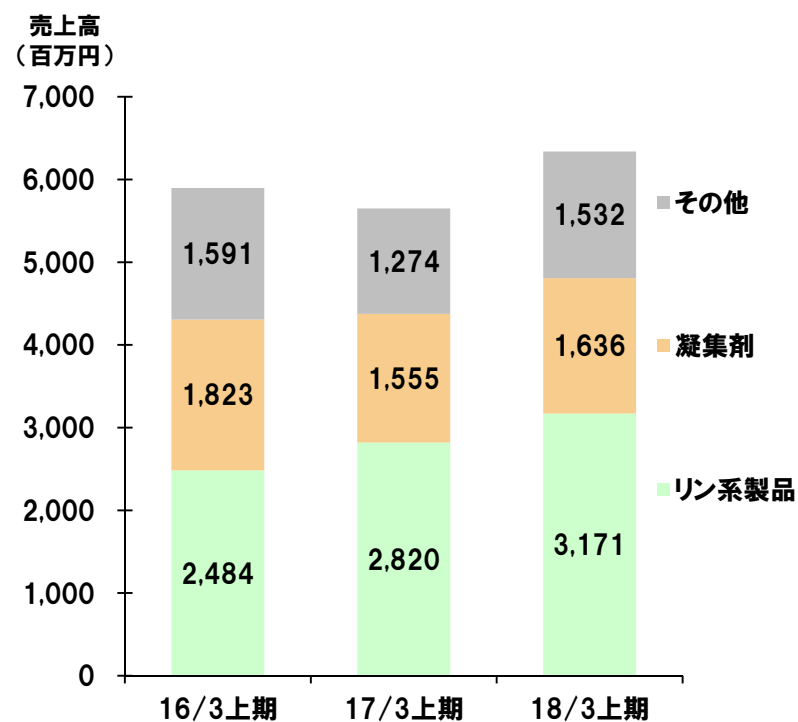
化成品事業

- リン系製品は、電子工業向け高純度品の販売が好調。
- 凝集剤は、低調ながら、底打ち感も。

【化成品事業】 売上高と営業利益の推移 (連結)

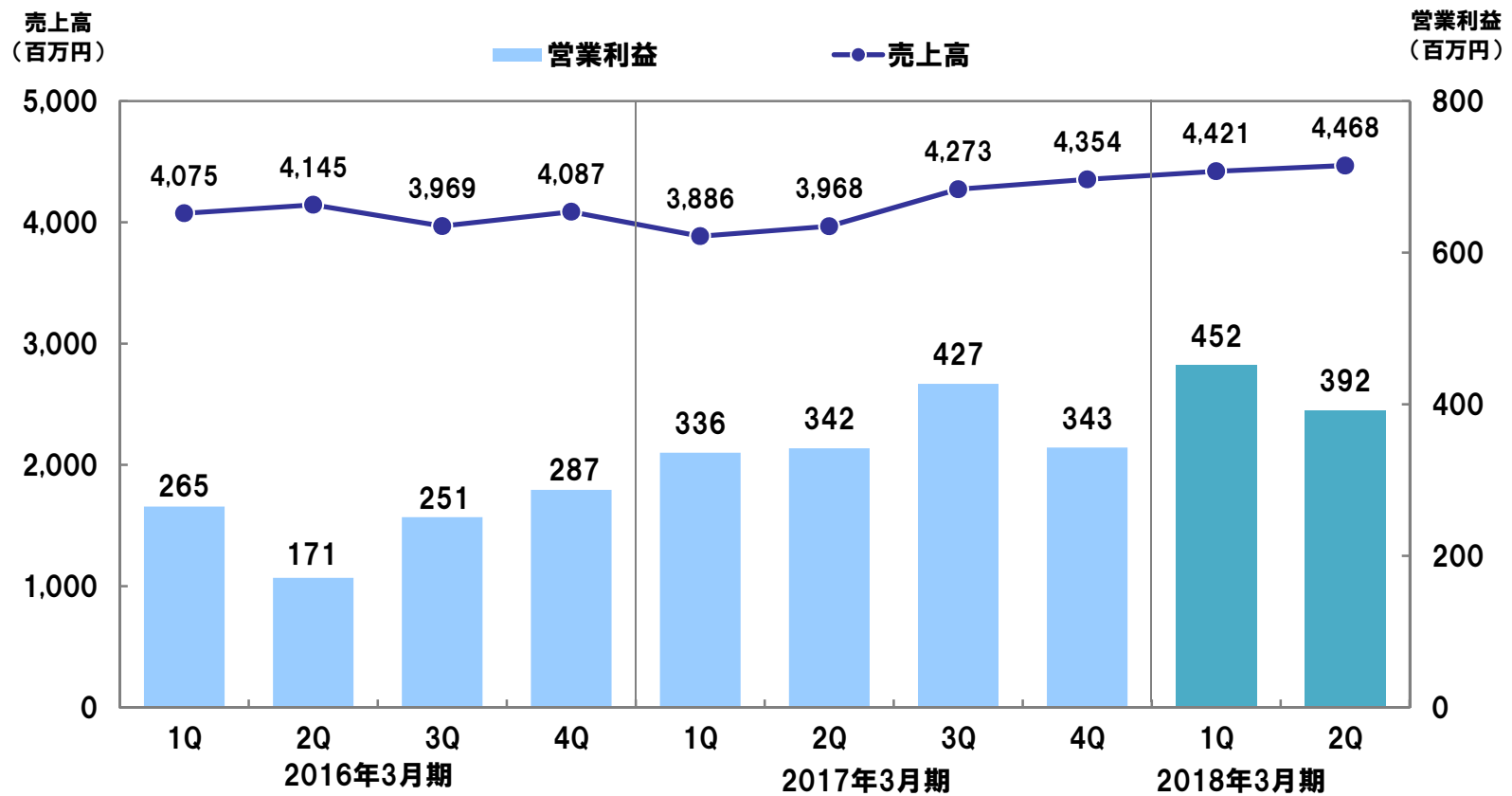


【化成品事業】 製品別売上高の推移 (単独)



化成品事業(四半期業績)

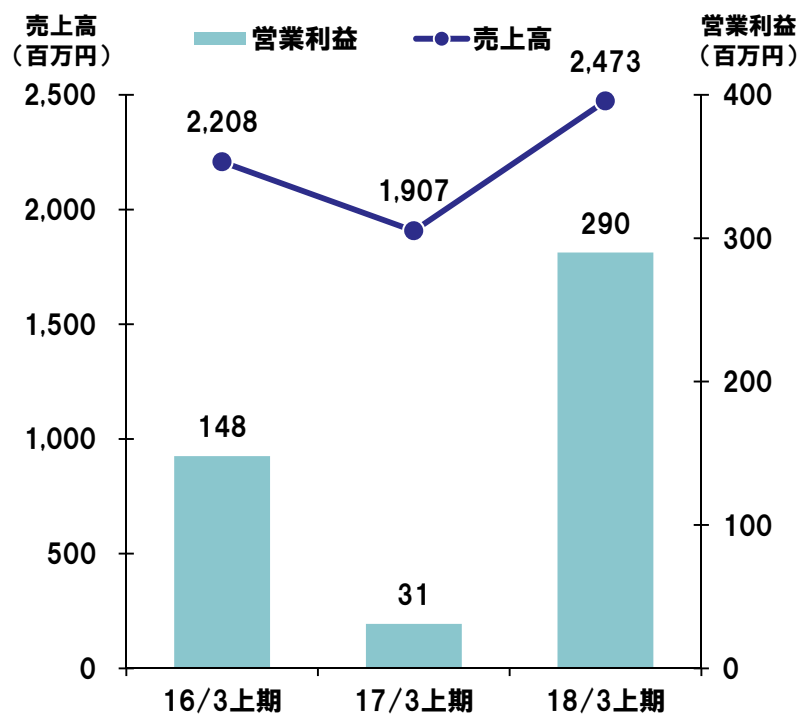
【化成品事業】売上高と営業利益の四半期推移（連結）



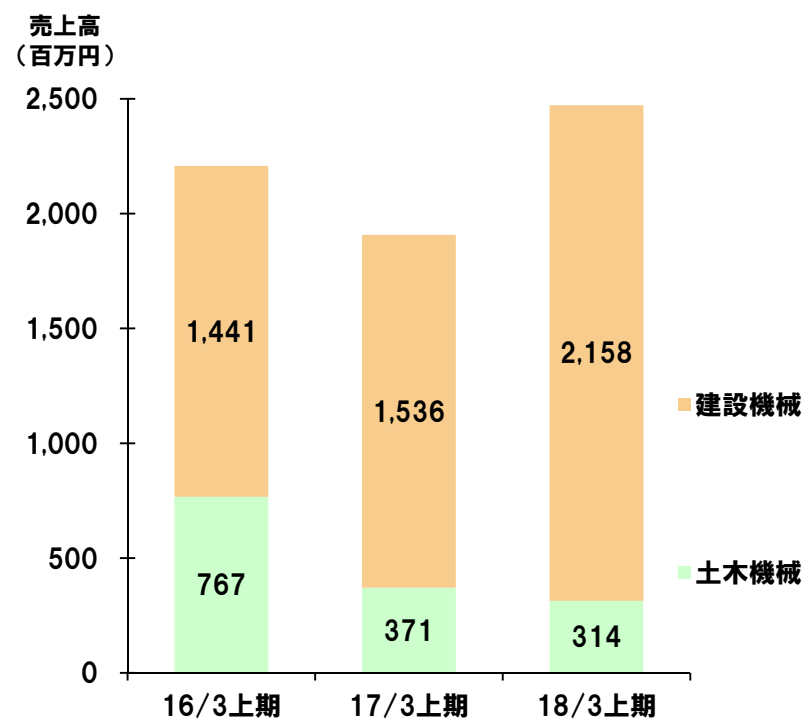
機械事業

- 建設機械は、プラント販売、消耗部品が堅調。
- 土木機械は、掘進機の海外向け販売が引き続き低調。

【機械事業】売上高と営業利益の推移（連結）

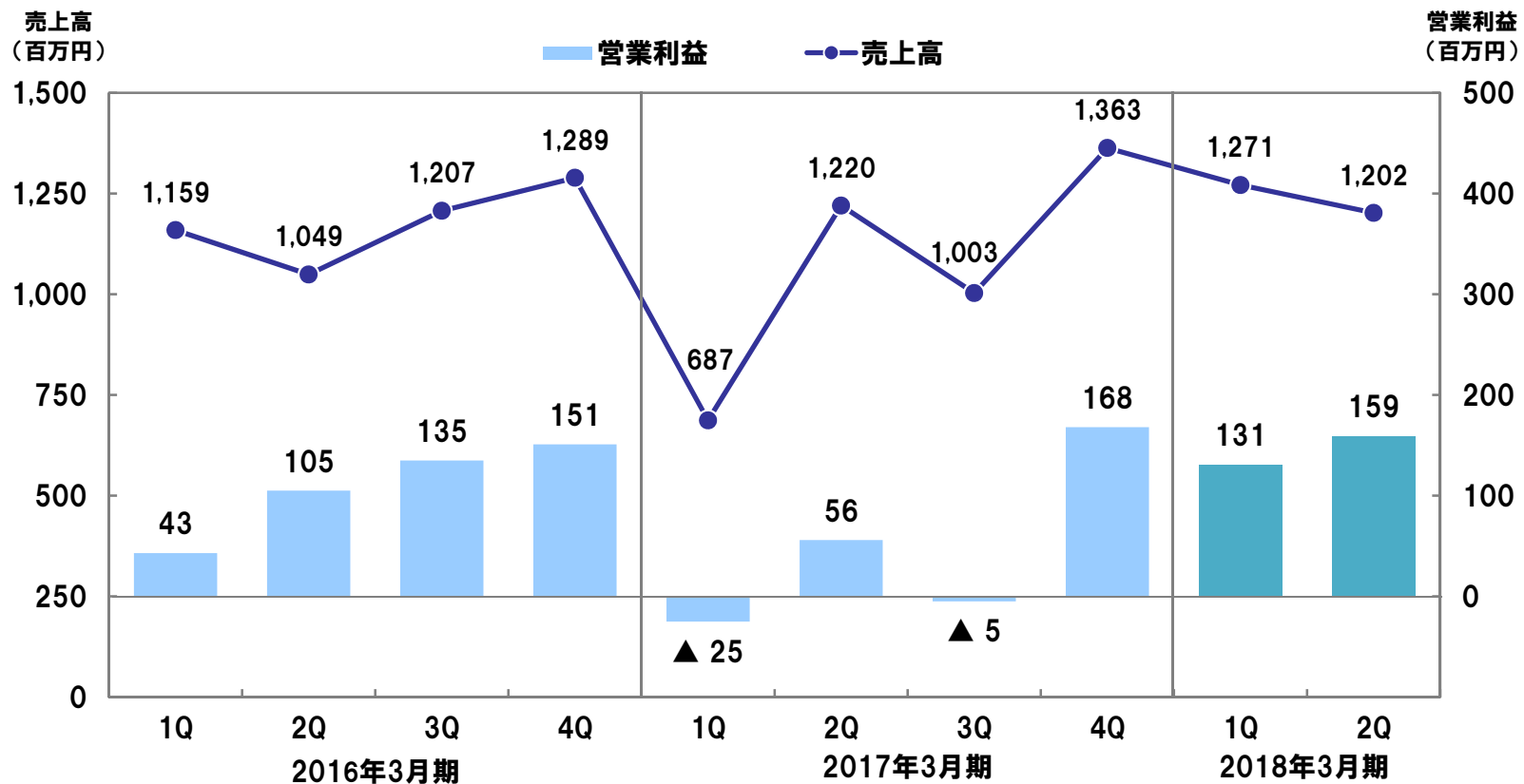


【機械事業】製品別売上高の推移（単独）



機械事業(四半期業績)

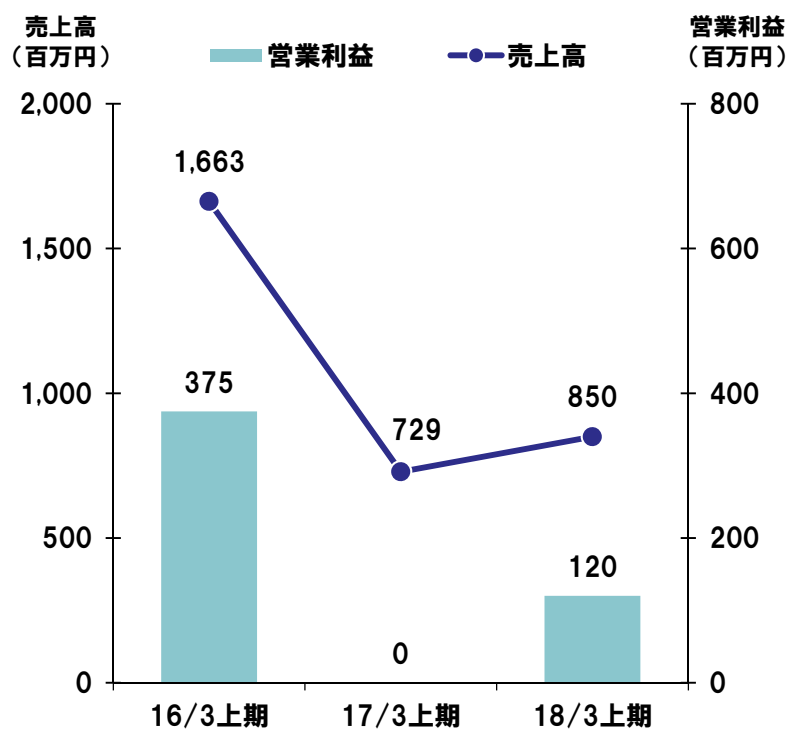
【機械事業】売上高と営業利益の四半期推移（連結）



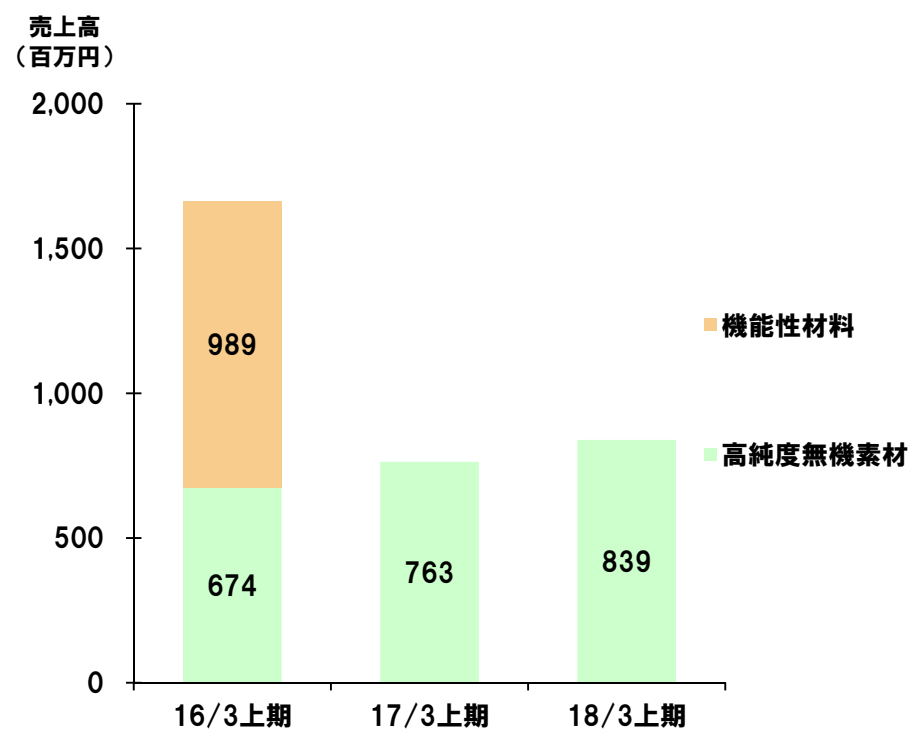
電子材料事業

- 化合物半導体向け高純度無機素材はガリウムが販売回復。
- 放射性ヨウ素吸着剤は、今期も販売無し。

【電子材料事業】 売上高と営業利益の推移（連結）

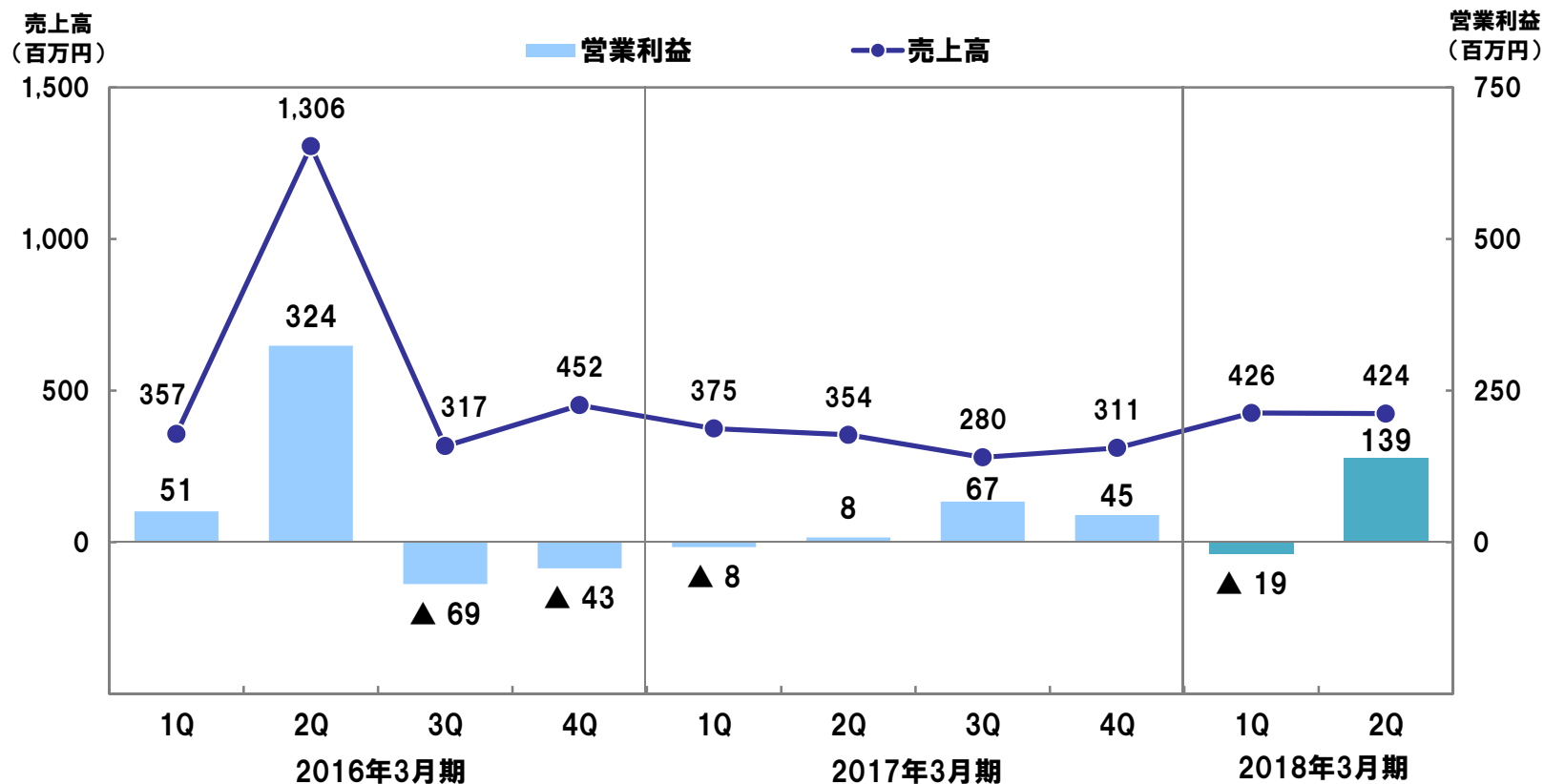


【電子材料事業】 製品別売上高の推移（単独）



電子材料事業(四半期業績)

【電子材料事業】売上高と営業利益の四半期推移（連結）



損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	2017/3 上期	2018/3 上期	増減	伸び率
売上高	11,159	12,840	1,681	15.1%
売上原価	8,523	9,571	1,048	12.3%
販売費・一般管理費	1,987	2,054	67	3.4%
営業利益	648	1,214	566	87.2%
営業外収益	69	103	34	49.3%
営業外費用	272	192	△80	△29.4%
経常利益	445	1,125	680	152.8%
特別利益	-	1	1	-
特別損失	37	-	△37	-
税金等調整前当期純利益	408	1,126	718	176.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,137	914	△223	△19.5%

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	2017/3月末	2017/9月末	増減
流動資産 計	14,433	14,888	455
現金及び預金	3,658	3,846	188
受取手形及び売掛金	7,028	7,369	341
たな卸資産 ※	3,344	3,164	△180
固定資産 計	16,847	17,412	565
有形固定資産	12,929	13,553	624
無形固定資産	955	952	△3
投資その他の資産	2,962	2,906	△56
流動負債 計	12,715	12,393	△322
支払手形及び買掛金	3,416	3,289	△127
短期借入金	6,613	6,034	△579
固定負債 計	7,785	8,328	543
長期借入金	4,267	4,898	631
退職給付に係る負債	2,885	2,917	32
純資産	10,780	11,578	798
自己資本	10,750	11,543	793
非支配株主持分	30	35	5
総資産	31,281	32,300	1,019

※ たな卸資産＝商品及び製品＋仕掛品＋原材料及び貯蔵品

キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

	2017/3 上期	2018/3 上期	増減
営業キャッシュ・フロー	1,009	1,165	156
税金等調整前当期純利益	408	1,126	718
減価償却費	446	472	26
売上債権の増減額(△は増加)	42	△322	△364
たな卸資産の増減額(△は増加)	△199	192	391
仕入債務の増減額(△は減少)	△48	△130	△82
法人税等の支払額	△80	△131	△51
投資キャッシュ・フロー	△538	△851	△313
有形固定資産の取得による支出	△531	△843	△312
財務キャッシュ・フロー	△1,154	△141	1,013
借入金の純増減額	△1,147	24	1,171
現金及び現金同等物 期中増減額	△743	187	930
現金及び現金同等物 期末残高	1,909	3,846	1,937

2018/3期の業績予想

- 半導体向け高純度リン酸は、引き続き販売好調の予想も、償却費等のコストアップを見込む。
- 機械事業は、廃材処理向けプラント販売が寄与し、増収増益。

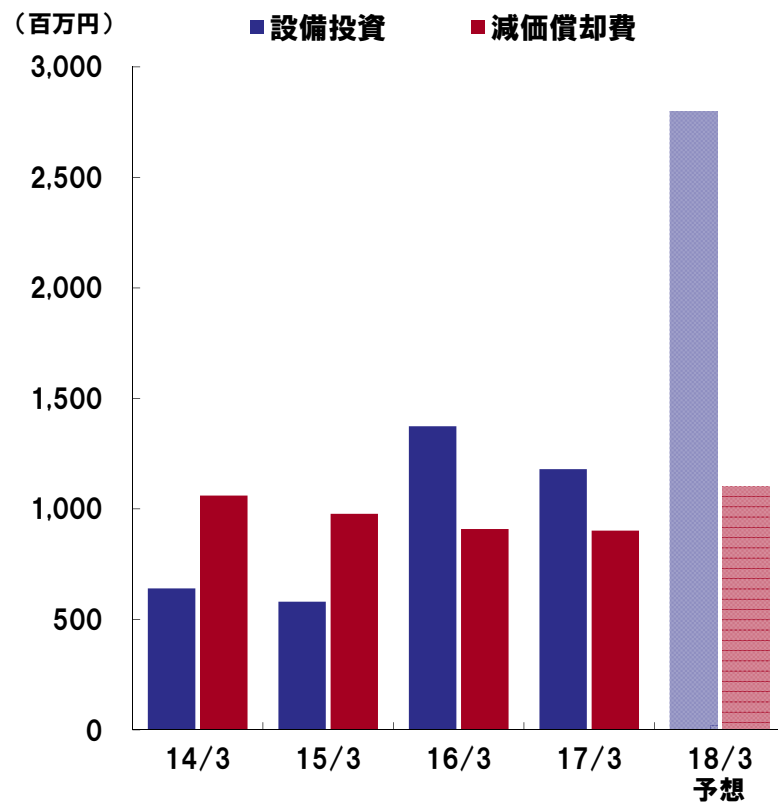
(単位:百万円)

	2017/3期	2018/3期予想	増減	前年比
売上高	23,283	26,000	2,717	12%
化成品事業	16,504	18,500	1,996	12%
機械事業	4,273	4,700	427	10%
電子材料事業	1,297	1,600	303	23%
その他	1,207	1,200	△7	△1%
営業利益	1,622	2,100	478	29%
化成品事業	1,451	1,700	249	17%
機械事業	194	500	306	158%
電子材料事業	108	150	42	39%
その他	724	700	△24	△3%
全社費用など	△855	△950	△95	—
経常利益	1,342	1,900	558	42%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,726	1,500	△226	△13%
1株配当金	2.00円	30.00円※	—	—

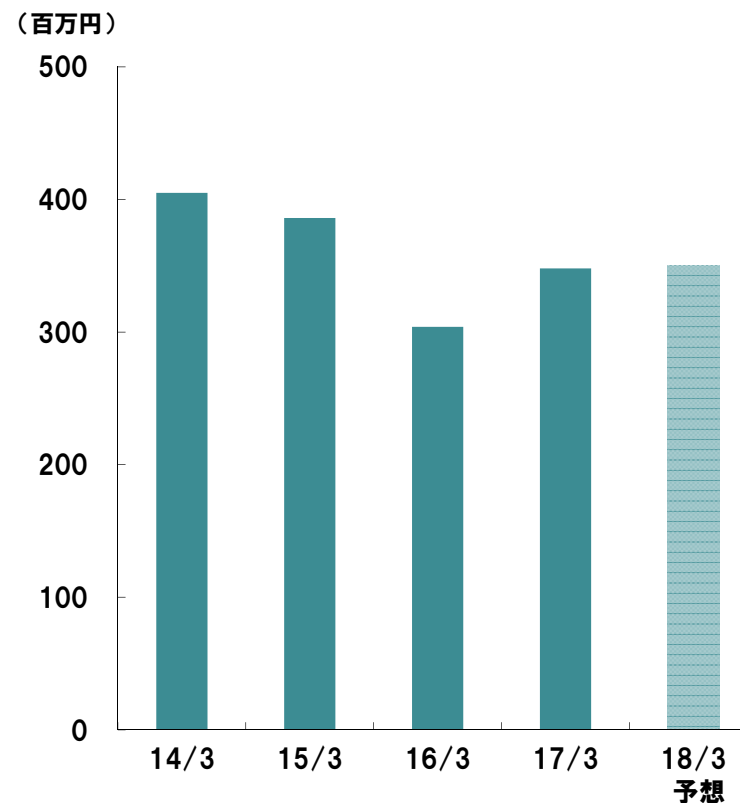
※ 2017/10/1に10株を1株に併合

設備投資及び減価償却費推移

設備投資・減価償却費（連結）



研究開発費（連結）





2. 中期経営計画の進捗と2017年度の重点施策

中期経営計画(2015～2017年度)の概要

第8次中期経営計画

～「安定した収益力」と「財務健全化の達成」の両立を目指す～

安定的な配当体制の構築

数値目標

- 連結営業利益 最終年度15億円
- ネットD/Eレシオ 0.7倍以下

事業戦略

- ◆ 既存事業の強化・領域拡大
- ◆ グローバル化への対応強化
- ◆ 新規事業への注力

効率的な組織運営＋経営管理の見える化推進＋コンプライアンスの徹底

中期経営計画(2015～2017年度)の状況

安定的な配当体制の構築

➔ 2017年3月期に2円配当 2018年3月期予想は30円※

※ 2017/10/1に10株を1株に併合

数値目標

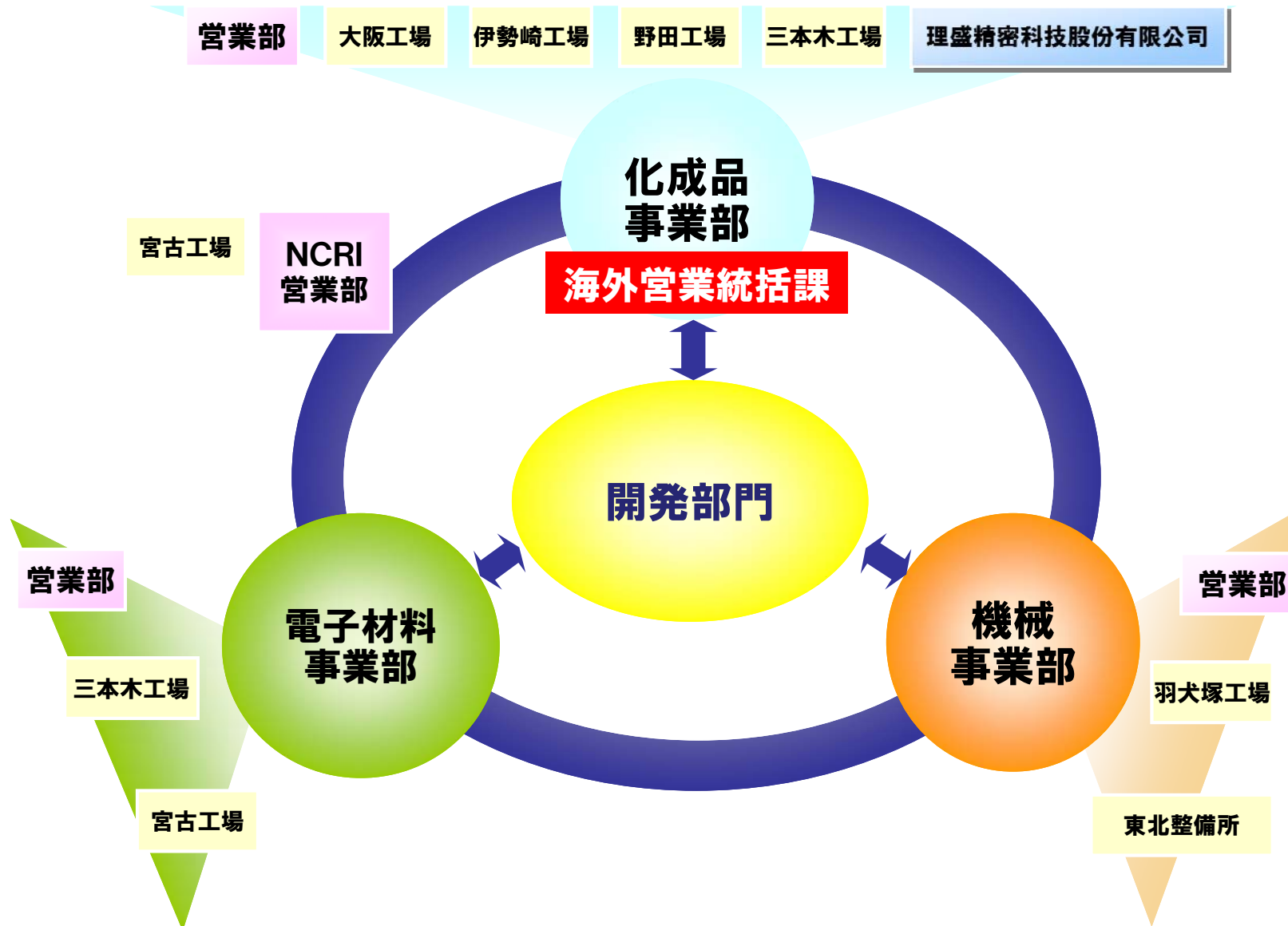
✓ 連結営業利益 最終年度15億円

➔ 最終年度計画は21億円

✓ ネットD/Eレシオ 0.7倍以下

➔ 2年目達成(0.67倍)、最終年度は借入金増加

安定収益の確保に向けた効率的な組織運営



営業との連携を強化する開発体制

ターゲット領域 「電子産業分野」、「ファインケミカル分野」、「リサイクル分野」

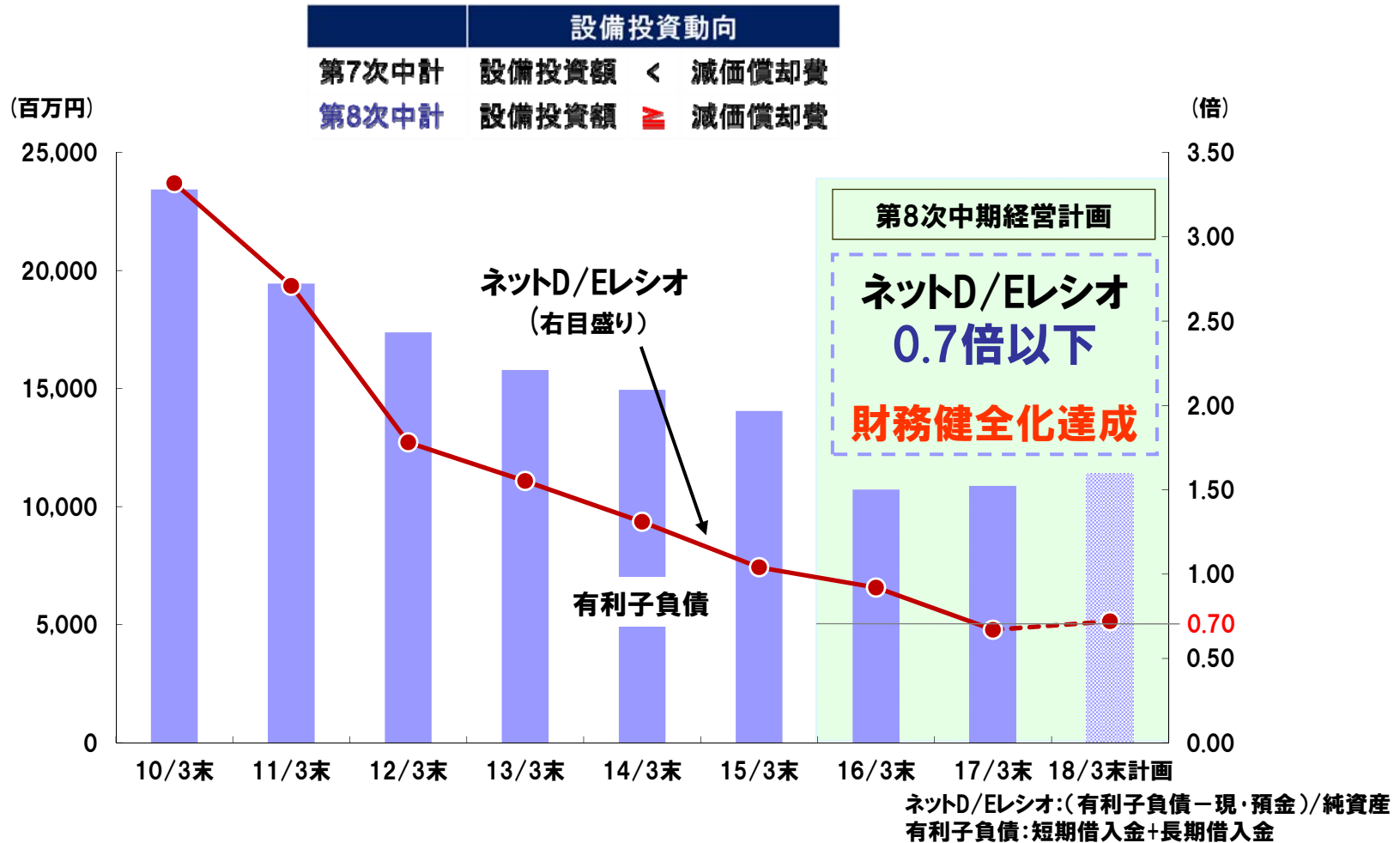


第8次中期経営計画の事業戦略

全社方針	施策
既存事業の強化・ 領域拡大	<ul style="list-style-type: none">・ 既存商品拡販による収益基盤の安定化・ 営業力強化とコスト削減・ 事業採算性の管理強化
グローバル化への 対応強化	<ul style="list-style-type: none">・ 販売・仕入ともに海外マーケットへの取り組み強化・ 原料の安定確保の強化
新規事業への注力	<ul style="list-style-type: none">・ ユーザー拡大と高付加価値化・ 製品開発と営業の連携強化

財務健全化の数値目標

成長投資を選別し財務健全化達成を目指す



中計2年目(2016年度)の施策と総括

	化成品事業	機械事業	電子材料事業
施策	<ul style="list-style-type: none"> ・高純度リン酸の拡販 ・台湾子会社の海外拠点化推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・震災復興関連の取り込み ・粉体向け機械販売の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・高純度無機素材の収益改善策
計画線	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国、合併会社設立 高純度リン酸生産開始 ・表面処理薬品の海外市場開拓 		<ul style="list-style-type: none"> ・工程見直し、在庫圧縮
やや遅れ	<ul style="list-style-type: none"> ・消臭剤の海外販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・震災・復興関連 ・粉体向け機械販売 	

2017年度の重点施策

化成品事業

- 高純度リン酸の拡販
 - ✓ 日台韓の3拠点体制、最適化推進
 - ✓ 設備更新投資の実施
- 台湾子会社の成長
 - ✓ 高純度リン酸を柱に、消臭剤・金属表面処理剤の販売開拓

機械事業

- 下水道向け掘進機の海外新規市場の開拓
 - ✓ 東南アジア新興国(フィリピン・ベトナムが中心)にて営業活動
- 粉体向け機械販売の強化
 - ✓ 顧客ニーズにマッチした製品開発

電子材料事業

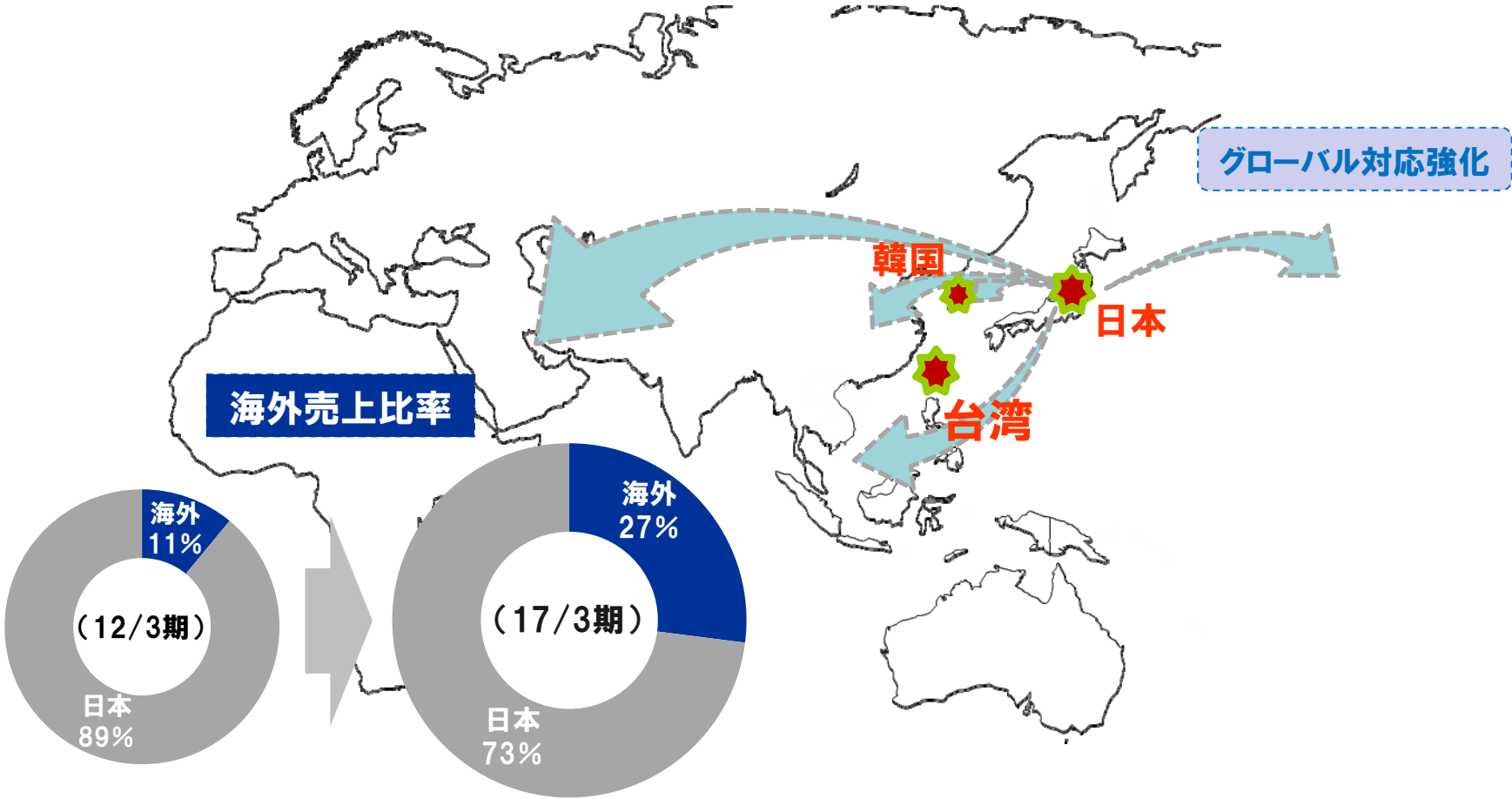
- 塗布剤の拡販
 - ✓ 顧客のコスト削減ニーズに応える提案営業

海外市場の現状と取り組み

現状

海外生産: 台湾・韓国内需向け中心の高純度リン酸

輸出対応: 下水道向け掘進機、高純度無機素材など



本資料に関する注意事項

- 本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもののご理解下さい。

—IRに関する問い合わせ窓口—
ラサ工業株式会社 経理部
03-3278-3892